

公益社団法人 全国病院理学療法協会

広 報

平成25年12月9日 第215号

目 次

平成25年度 第3回理事会 議事録(抄)	1
地方会編成基準表	4
平成25年度 事業中間報告	5
平成25年度 会費納金等一覧	8
財務状況の推移	9
平成26年度 事業計画に対する基本姿勢(案)	10
諸会議及び役員渉外行動報告	11
本部発信文書一覧	12
年度末業務予定表	13
東洋療法研修試験財団理事長表彰について	14
選挙公報	15

平成 25 年度 第 3 回理事会 議事録 (抄)

日 時 平成25年11月17日(日)午前11時~午後3時30分終了

場 所 協会事務所

出席者 理 事 龍澤 良忠・平野五十男
柳澤 貞男・新山二三夫
三宅健一郎・佐藤 功
小川 嗣人・木村 重人
米谷 勝行・大場 栄悦
青柳 利之・蟹谷 泰郎
中川 保・川口 清宣
多田 浩幸

監 事 長宅 政夫・菊田 京一
部 長 杉浦 幹雄・小田木宏江
相 談 役 丸山 福治・倉石 健二
猪野塚 孝徳

開会に先立ち平野事務局長より、出席者数及び理事会成立の確認が報告され、併せて報告事項は平野が、審議事項は龍澤会長が議長を務めること、並びに書記は青柳広報局長、録音は佐藤情報管理局长が担当することが告げられた。

また、本日の審議事項に「役員改選に係る特例事項の承認」があるが、池田京二役員改選管理委員長が所用で出席不能になったことが報告された。

(報告事項)

1. 平成 26 年 診療報酬改定に係る要望活動 三宅保険局長

10月29日(火)午前11時から約1時間、厚労省医政局医療課へ龍澤会長、三宅保険局長、大場保険局次長、青柳介護保険部長が出向き、標記の要望を行った。

前回指摘のあった「マッサージのエビデンス」については、資料を示しながらマッサージ等の手技療法の有用性を強調したが、担当者からは「消炎鎮痛処置よりも、現在算定が可能な疾患別リハビリテーション料の分野で努力すべきではないか」との意見があった。

2. 福祉用具専門相談員に係る都道府県知事への公示を求める折衝

龍澤会長

各支部に都道府県への働きかけをお願いした結果、折衝を行ったのは、16支部と半分にも満たなかった。

行政と折衝中で課題を残したままの支部もあるが、この件に関して力を注ぐより、介護報酬等の課題に取り組むべきであるとの意見もあり、当分の間静観することにした。

3. 第36回 理学療法指導者講習会の終了報告 三宅教育部長

日 程 平成25年10月19日(土)~20日(日)

会 場 東京衛生学園専門学校

テーマ 用手的リンパドレナージの理論と実技
~医療現場における浮腫へのアプローチ~

講 師 学校法人後藤学園

神奈川衛生学園専門学校長

附属リンパ浮腫研究所

新井 恒紀 先生 他2名

参加支部 31支部 40名

4. 平成 25 年度 運動療法機能訓練技能講習会の進捗状況 柳澤学術局長

1) 今年度の開催は、北海道地方会・神奈川県支部・中部地方会・近畿地方会の4会場である。

神奈川県支部並びに中部地方会においては、福祉用具専門相談員指定講習会の認可を受けて開催することができた。

2) 第21回技能認定試験(平成26年2月9日)実施に向けて、準備を進めている。

今回の認定試験は現在技能講習会を開催している4会場で実施することで、支部執行委員長に通知すると同時に協会ホームページに掲載し周知を図る。

5. 第63回 日本理学療法学会の進捗状況

木村学会長

現在、青森県、青森市、関連団体へ後援名義使用の許可申請を行っており、同時に特別講演の講師とも最終的な打ち合わせの段階に入っている。

会員からの演題が非常に少ないため、各理事から所属支部に対して演題提出について依頼していただきたい。

また、懇親会の会場が、会場側の都合で変更を余儀なくされ、現在調整中である。

6. 地方学会・記念式典出席報告

柳澤副会長

7月6日～7日 第54回 九州理学療法学会(鹿児島市)平野が出席

8月31日～9月1日 第55回 東北理学療法研修学会 第56回 東北理学療法大会(仙台市)平野が出席

10月6日 日本リンパドレナージ協会学術大会(東京都)柳澤が出席

10月20日 茨城県支部創立50周年記念式典(水戸市)平野が出席

10月26日～27日 第41回 中国四国理学療法学会(浜田市)平野が出席

11月10日 第51回 中部理学療法学会 中部会創立65周年・三重県支部設立50周年記念式典(四日市市)平野が出席

11月10日 第33回 近畿理学療法学会(神戸市)柳澤が出席

7. 第9回国民医療推進協議会総会

龍澤会長

平成25年10月23日に日本医師会館で開催され、龍澤・平野が出席した。

「国民医療を守るための総決起大会」を、

12月6日(金)14時から日比谷公会堂において開催することが決議され、本協会も動員依頼を受けている。

8. 第5回 あはき等法推進協議会

龍澤会長

11月1日、全鍼師会会館において開催さ

れ、龍澤・平野が出席した。

(審議事項)

1. 平成25年度 事業中間報告

平野事務局長より、(P5参照)により議案が示され、次いで各部局より追加資料等が提示された後、審議が行われた。

理事からは、診療報酬、介護報酬改定に係る要望書を協会ホームページへ掲載できないか。地方学会交付金と支部交付金の使途を明確にしなければならないのかなど、活発な質疑が行われた後、全会一致で承認された。

2. 組織改革(地方会編成基準の見直し)に伴う定款・定款細則の改正(案)

米谷組織改革部長より、地方会編成基準表により各支部の区割りが提案され、併せて代議員、理事の定数削減や、これによって生じる定款、定款細則の改正(案)が上程された。

各理事から、区割りに関する意見、現在の地方会単位で区割りされた場合、支部の運営を危惧する声、地方会と支部の権限、責任に関する質問、意見が相次いだ。

その結果、①全国の支部を9地方会に区割りする。(現在の地方会単位「一部再編成」)(地方会編成表P4参照) ②代議員の定数を24名とする。③理事を10名以上12名以内とすること及び、これに関連する定款、定款細則の改正案が全会一致で承認された。

また、支部の統廃合や代議員、理事の定数見直しなどによって、組織改革の本来の目的である経費節減の目標値を、第4回理事会へ報告することも併せて承認された。

今後は、現在の支部を全国9地方会に区割りすることを前提に、管理業務や学術活動などの検討を行い、更に具体的な案を第4回理事会へ提出することが確認された。

3. 会員証の作製について(JCBカード)

第3回理事会において、カードを作製し会員証とすることは承認されたが、作製に係る具体的な手順を示すよう求められていたため、佐藤情報管理局长並びに小田木情報運用

部長から、次のように提案された。

①カード作製に係る費用は、全て協会が負担する。②カード作製に係る個人情報、JCBが責任を持って管理する。③会費の徴収に関して、各支部役員の負担を軽減し、本部へ直接納入できるようにする。④会費の未納者を少なくし、未納者への督促もJCBが行う。などのメリットを確認し、審議が求められた。

理事等からは、カードの機能に関する質問や、申し込み手続きの確認などがあつた後、全会一致で承認された。

4. 平成26年度 基本姿勢（案）及び予算編成方針

平野事務局長より基本姿勢（案）、次いで小川財務局長からは予算編成方針を、財務状況の推移（P9参照）の説明があり、その後、理事より、計上されている地方学会交付金では、現行の事業ができかねることや、定められた予算で実行可能な事業を企画して行かなければならないことなどの意見が交わされ、全会一致で承認された。

5. 役員改選に係る特例事項の承認

池田役員改選管理委員長が欠席しているため、柳澤副会長より議案の説明が行われた。

平成26年に行われる役員改選は、法令及び定款の定めにより、立候補者が定数内であっても「候補者全員の信任投票」が必要で

あるため、代議員総会における時間配分が困難となる。

これに対処するためには、前回の役員改選時と同様、特例として理事会の決議により、各立候補者の承認を受けて、第55回定時代議員総会における役員改選を実施する。

具体的には、定款上の「立候補者の立会演説」を省略すること及び、「開票立会人は理事会が推薦する。」ことである。

審議の結果、全会一致で承認された。

6. 点字理療のCD化について

猪野塚特殊出版部長より、「理療点字版からパソコン利用による読み上げ方法」に変更する案が示され、審議が行われた。

各理事からは、点字理療の購読者から予め承諾を得ておくことや、変更する理由などを、支部・地方会代表者会議で充分周知することなどの意見が聞かれ、全会一致で承認された。

7. その他

OB会の設置について

川口理事より、第2回理事会で提案したOB会の設置について、今後どのような取り扱いになるのか提起があり、平野事務局長より「組織改革の一環として検討する。」とした第2回理事会の意向を踏まえ、今後は三役会で草案を検討することとした。

記 録 青柳

地方会編成基準表

地方会名	支部（都道府県）	会員数	代議員数
北海道	北海道	135	2
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	151	2
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟 長野・静岡	659	7
北陸	富山・石川・福井	91	1
中部	岐阜・愛知・三重	359	4
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	370	4
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	87	1
四国	徳島・香川・愛媛・高知	94	1
九州	福岡・長崎・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	164	2
9地方会		2110名	24名

※会員数は、平成25年7月26日の組織局資料を基にした。

※代議員数は、会員100名を1名とした。端数が生じた場合、端数1名以上で代議員1名を選出することができる。

東北は、6県を1地方会とする。

関東会は、関東甲信越10支部に静岡県支部を加え、1都10県を1地方会とする。

中部は、3県1地方会とする。

近畿は、6県を1地方会とする。

九州は、8県を1地方会とする。

平成 25 年度 事業中間報告

1. 事務局

- 1) 会議の開催
 - (1) 代議員総会 1回
 - (2) 代議員総会報告 1回
 - (3) 理事会 3回
 - (4) 三役会 8回
- 2) 各支部から提出された平成 24 年度事業報告・決算報告等の整理・管理
- 3) 諸会議に係る企画立案と文書作成
- 4) 葵税理士法人との決算処理作業
- 5) 法人業務及び会計に係る報告書の提出
- 6) 関係省庁・関係学会等に対する各種要望書の提出と要望活動の実施
- 7) 東洋療法研修試験財団評議員会・生涯研修検討委員会・作業部会への参画
- 8) あはき等法推進協議会への参画
- 9) 国民医療推進協議会への参画

2. 広報局

- 1) 広報部
 - (1) 広報 213 号 平成 25 年 6 月 22 日に編集委員会を行い、3 校を経て 7 月 1 日に 2,500 部発行
 - (2) 広報 214 号 平成 25 年 9 月 6 日に編集委員会を行い、3 校を経て 10 月 1 日に 2,500 部発行
- 2) 障害対策部
 - (1) 広報 点字版 No. 213 号 1 巻 99 部
広報 点字版 No. 214 号 1 巻 94 部
 - (2) 理療 点字版 No. 165 号 2 巻 51 部
理療 点字版 No. 166 号 2 巻 51 部
理療点字版からパソコン利用による音声読み上げシステムの検討
 - (3) 理療録音テープ No.165号 テープ 6 本
理療録音テープ No.166号 テープ 6 本
理療録音テープの製作は、平成 25 年度をもって終了（製作用カセットデッキ及びカセットテープが入手困難なため）
 - (4) 理療デジ購読 No. 165 号
理療デジ購読 No. 166 号

3. 組織局

- 1) 平成 25 年度 入退会者報告
- 2) 平成 25 年度 役員名簿作製
- 3) 会友・休会会員の処理
- 4) 会員管理システム総点検
- 5) 理療、広報等の不着物に係る総点検

4. 情報管理局

- 1) 情報管理業務
 - (1) ホスティングサービス（業務委託）
運用及びシステム開発
会員管理システム
財務処理システム
 - (2) 会員管理・財務会計 クラウドシステムの管理・運用
支部・地方会へのシステム使用法伝達
支部・地方会のデータ集約
 - (3) 各種文書管理（文書ファイル管理
各講習会映像等の DVD 化）
 - (4) メール配信業務
理事・地方会・支部連絡用アドレス管理
 - (5) 各種証書作成（技能認定登録制度・
技能講習会等）
 - (6) IT 活用支援事業
 - (7) 財務関連業務
予算・決算 資料提供
 - (8) 財務処理支援業務
- 2) ホームページ管理業務
 - (1) デザイン・コンテンツの整備・運用
 - (2) データライブラリの整備・拡充
 - (3) リンク集作成（各県支部・公共機関
関連情報等）
 - (4) 技能認定登録者名簿の掲載
四半期ごとに名簿改変し掲載
 - (5) 会員専用談話室管理（参加者管理
投稿管理）
 - (6) 全病理 財務処理サイト 運用
四半期ごとに財務処理に対応した
コンテンツ改変

5. 保険局

1) 会 議

(1) 第1回保険局会議（5月19日）
支部・地方会代表者会議、第54回定時代議員総会でも出された要望、意見等に係る対応について協議した。

(2) 第2回保険局会議（7月28日）
厚生労働省 への要望書について協議し、特に疾患別リハビリテーション料の格差是正、消炎鎮痛におけるマッサージ等の手技療法の評価について再検討した。

(3) 第3回保険局会議（8月19日）
厚生労働省へ出向く前に、要望書の最終確認を行い、具体的な活動について打ち合わせを行った。

(4) 第4回保険局会議（10月29日）
平成26年診療報酬改定に係る要望書及びマッサージのエビデンスに関する提出資料を検討し、具体的な内容について協議した。

また、福祉用具専門相談員の取り組みについて協議し、都道府県知事への公示折衝は、当分の間静観することとした。

2) 要望活動

8月19日と10月29日に厚生労働省保険局医療課に出向き、疾患別リハビリテーション料の格差是正、消炎鎮痛におけるマッサージ等の手技療法の評価について、要望活動を行った。

6. 学術局

(全般)

1) 第62回日本理学療法学会終了報告書の提出

2) 第63回日本理学療法学会準備委員会との打ち合わせ 1回

その他、メール等で連携を密に行った。

3) 学術局会議の開催 1回

4) 東洋療法研修試験財団関係

(1) 平成24年度生涯研修会終了報告書の提出

(2) 平成25年度生涯研修会開催計画書の提出

(教育部)

1) 第36回理学療法指導者講習会の開催

P1 第3回 理事会議事録(抄)参照

2) 第36回理学療法指導者講習会のDVD作製中

3) 第37回理学療法指導者講習会の開催準備

4) 理学療法指導者講習会規程の検討

(研究部)

1) 運動療法機能訓練技能講習会課題学習レポートの収集と学術奨励賞の選考

2) 学術研究資料の収集

7. 理療出版局

1) 原稿依頼・収集・校正の編集業務

2) 理療の発行

vol 43 No 1 (165号) 2500部

vol 43 No 2 (166号) 2500部

vol 43 No 3 (167号) 2500部

3) 理療寄贈先の再検討

8. 財務局

1) 会費納入状況

(1) 平成25年10月18日現在、未納支部は福井、滋賀、山口、沖縄である。

(2) 本部へ送金せず支部で保留していると思われる。

(3) 当初予算額4,300万円(2,150名)のうち780万円が未徴収である。

(4) 早急の完納に努める。

2) 財務業務

(1) 内閣府の会計監査が入ることを前提に定期的に葵税理士法人との財務作業を行なっている。

(2) 第1四半期、第2四半期の決算状況は、葵税理士法人の指摘事項を受け該当支部にその都度連絡し訂正を求めている。

(3) 財務処理対策委員会は9月、10月

に3回開催した。

- (4) 各支部・地方会交付金は第1期（4月）、第2期（7月）に分けて交付した。
- (5) 地方学会交付金（東北、中部、近畿、中・四国、九州）の交付を完了した。

9. 技能認定登録制度委員会

- 1) 技能認定登録及び技能認定更新登録（再登録を含む）の遂行
- 2) 単位取得講習会（課題学習）報告書の審査及び承認単位通知書の発行
- 3) 規程の検討

特に講習会参加費等について、会員からの意見を参考に検討した結果、本年度は規程の変更を行わないこととした。

10. 運動療法機能訓練技能講習会

- 1) 今年度の開催は、北海道地方会・神奈川県支部・中部地方会・近畿地方会の4会場である。

なお、神奈川県支部並びに中部地方会においては、福祉用具専門相談員指定講

習会の認可を受けて開催することができた。

- 2) 第21回技能認定試験（平成26年2月9日）実施に向けての準備
- 3) 視聴覚教材（DVD）の整理

11. 表彰選考委員会（第2回理事会報告以降）

- 1) 10月20日開催の「茨城県支部創立50周年記念式典」における会長賞4名の選考を行った。

なお当日は、2名に茨城県知事表彰、1名に保健福祉部長表彰が贈呈された。

- 2) 11月9日～10日開催の「中部地方会創立65周年・三重県支部設立50周年記念式典」における会長賞15名（静岡2名・三重3名・愛知4名・岐阜6名）の選考を行った。

当日、三重県支部会員2名に三重県知事表彰が贈呈された。

- 3) その他「荣誉賞並びに特別感謝状申請書」の原案作成等を行っている。

以上

平成 25 年度 会費等納金一覽

2013/10/18

支部名	会員数	納入日	会費納入額	支部名	会員数	納入日	会費納入額
北海道	78	6月27日	1,560,000	三重	4	5月27日	80,000
"	56	7月11日	1,120,000	"	35	6月26日	700,000
青森	2	4月2日	40,000	"	1	8月28日	20,000
"	3	4月3日	60,000	滋賀	2	4月8日	40,000
"	2	4月8日	40,000	"			
"	2	4月26日	40,000	京都	1	4月8日	20,000
"	4	5月20日	80,000	"	51	6月28日	1,020,000
"	2	6月5日	40,000	大阪	1	3月28日	20,000
"	2	6月17日	40,000	"	2	5月30日	40,000
岩手	35	6月25日	700,000	"	1	5月30日	20,000
宮城	4	5月27日	80,000	"	1	5月30日	20,000
"	4	5月27日	80,000	"	1	5月30日	20,000
"	3	6月24日	60,000	"	15	7月4日	300,000
秋田	1	5月13日	20,000	"	1	7月4日	20,000
山形	4	6月24日	80,000	"	113	6月28日	2,260,000
"	13	8月22日	260,000	"	2	7月25日	40,000
"	1	9月25日	20,000	"	10	9月26日	200,000
福島	43	6月28日	860,000	兵庫	1	6月24日	20,000
"	11	7月25日	220,000	"	34	6月24日	680,000
"	1	8月19日	20,000	"	16	8月15日	320,000
茨城	46	7月3日	920,000	奈良	12	3月4日	240,000
栃木	5	4月30日	100,000	"	3	3月7日	60,000
"	5	4月30日	100,000	"	4	3月26日	80,000
群馬	13	8月1日	260,000	"	2	8月5日	40,000
埼玉	68	6月28日	1,360,000	和歌山	20	8月9日	400,000
"	30	9月27日	600,000	鳥取	4	6月19日	80,000
千葉	2	5月28日	40,000	"	1	7月3日	20,000
"	85	6月19日	1,700,000	島根	2	6月18日	40,000
東京	131	7月4日	2,620,000	岡山	2	6月27日	40,000
"	1	7月30日	20,000	広島	42	6月28日	840,000
"	2	8月12日	40,000	"	23	9月30日	460,000
神奈川	35	4月16日	700,000	山口			
"	2	4月19日	40,000	徳島	1	4月4日	20,000
"	9	4月30日	180,000	"	4	4月15日	80,000
"	20	7月3日	400,000	"	3	5月1日	60,000
"	10	7月23日	200,000	香川	21	4月22日	420,000
"	10	8月23日	200,000	"	4	8月14日	80,000
山梨	10	3月25日	200,000	愛媛	44	6月27日	880,000
新潟	14	5月1日	280,000	"	3	10月7日	60,000
"	7	7月24日	140,000	福岡	9	5月23日	180,000
"	2	10月11日	40,000	"	1	8月9日	20,000
長野	2	5月1日	40,000	長崎	7	9月6日	140,000
"	17	5月1日	340,000	熊本	8	7月4日	160,000
富山	27	6月28日	540,000	大分	19	9月11日	380,000
石川	18	6月27日	360,000	宮崎	6	6月29日	120,000
"	2	7月4日	40,000	鹿児島	5	4月8日	100,000
"	3	7月11日	60,000	"	4	6月13日	80,000
"	1	9月26日	20,000	"	50	8月30日	1,000,000
福井				沖縄			
静岡	33	6月28日	660,000				
岐阜	93	7月4日	1,860,000				
"	7	8月27日	140,000				
愛知	206	6月27日	4,120,000				
"	3	6月27日	60,000				
"	1	6月28日	20,000				
"	9	8月9日	180,000	合計	1796		35,920,000

財務状況の推移

財務状況の推移(2013/10/24) 第3回理事会参考資料 5

<収入の部>

No.	項目	24年度予算	24年度決算	25年度予算	10月24日現在	26予算
1	会費収入(入会金、会友、点字を含む)	45,129,313	44,029,000	43,330,000	35,490,560	40,000,000
2	全国学会事業	3,000,000	2,092,231	2,500,000	3,695,085	1,500,000
3	地方学会事業	2,549,000	3,091,721	1,629,000	1,310,041	1,000,000
4	技能講習会事業	2,750,000	4,735,018	2,820,000	3,926,104	3,000,000
5	技能認定登録事業	5,345,000	5,624,036	1,005,000	635,512	1,500,000
6	課題講習会事業(伝達講習を含む)	11,478,000	5,825,909	7,921,110	3,202,500	10,000,000
7	理療発行事業	0		0	0	0
8	記念事業	660,000	250,002	2	32,121	0
9	その他	807,759	1,031,616	26,127	466,347	0
	合計	71,719,072	66,679,533	59,231,239	48,758,270	57,000,000

収入積算根拠

26年度会費 20,000円×2,000名
 全国学会事業収入 参加費6,000円×250名
 地方学会事業収入 参加費3,000円×350名(5会場)
 技能講習会 参加費10万円×30名
 認定登録制度 登録料5,000円×300名(見込み者400名の7割程度か?)

<支出の部>

No.	項目	24年度予算	24年度決算	25年度予算	10月24日現在	26予算
1	全国学会事業	7,822,075	6,990,546	3,911,000	5,108,434	6,500,000
2	地方学会事業	4,419,500	6,337,765	4,153,000	2,435,889	5,000,000
3	技能講習会事業	2,613,200	6,051,295	2,500,000	1,701,550	3,000,000
4	技能認定登録事業	1,228,454	1,738,390	622,690	1,116,897	1,000,000
5	課題講習会事業(伝達講習を含む)	7,804,802	6,247,707	8,244,639	2,734,003	10,000,000
6	指導者講習会事業(受講者旅費等含む)	1,662,860	1,774,898	1,840,000	313,323	2,000,000
7	理療発行事業	8,950,000	6,454,127	5,400,000	3,630,953	5,000,000
8	広報発行事業	2,412,460	3,278,211	2,170,480	1,555,960	2,500,000
9	記念事業	1,768,211	1,175,745	1,990,000	3,168,938	1,000,000
10	本部活動費	16,826,622	15,780,956	12,555,000	11,022,939	12,000,000
11	代議員会開催費			3,700,000	2,827,404	0
12	支部・地方会活動費	15,713,000	14,118,695	12,042,996	4,796,121	9,000,000
	合計	71,221,184	69,948,335	59,129,805	37,585,007	57,000,000

支出積算根拠

全国学会 学会資金500万+参加費収入150万
 地方学会 学会資金50万×5学会+参加費収入100万
 認定登録制度 固定経費100万本部支部計(本部3,000円・支部2,000円の扱い)
 技能講習会 収支同額が原則
 課題・伝達講習会 収支同額が原則
 指導者講習会 開催費用 80万 + 旅費宿泊費120万
 理療・広報 前年同額 理療 600円/冊 広報 300円/冊
 本部活動費 前年同額
 支部活動費 20,000円会費から7,000円相当額 1,400万

平成 26 年度 事業計画に対する基本姿勢（案）

公益社団法人として認定されてから 2 年目を迎え、会員数の減少や高齢化が進む本会にとって、組織を再編し基盤の強化を図ることが急務となってきている。

第 54 回定時代議員総会で決定された事業の推進状況等を踏まえ、平成 26 年度の事業に対する基本姿勢（案）を以下のとおり策定する。

なお、これに対して各地方会・各支部から寄せられる意見・要望を、3 月に開催予定の理事会において審議し、議案書を作成するものである。

1. 学識・技術の向上

理学療法従事者の学識・技術を向上させる目的で「日本理学療法学会」及び「運動療法機能訓練技能講習会」並びに「理学療法指導者講習会」等を主催するとともに、学術誌の発行、技能認定登録制度に伴う単位取得講習会の充実、併せて研究活動の指導を推進する。

2. 診療報酬制度下における各種の取り組み

平成 26 年の診療報酬改定に向け、消炎鎮痛処置からマッサージ等の手技療法を独立させることと、疾患別リハビリテーション料の格差是正について重点的に要望している。

今後、さらに技能認定登録者が診療報酬で優位に位置付けられるよう引き続き要望活動を推進する。

また、技能認定登録を行っているはり師・きゅう師を、疾患別リハビリテーションの施設基準における算定要員として組み入れられるよう運動を継続する。

3. 介護保険制度に対する取り組み

平成 27 年の介護報酬改定に向けて、介護

老人保健施設、並びに通所リハビリテーション、及び訪問リハビリテーション等の人員配置基準に技能認定登録者を優位な条件で位置付けるよう要望活動を推進する。。

4. 技能認定登録制度の推進

平成 15 年度に発足したこの制度は、厚生労働省、関係医学会等において高い評価をいただき、平成 18 年 4 月の診療報酬改定において「運動療法機能訓練技能講習会を受講するとともに、定期的に適切な研修を修了しているマッサージ師等の従事者」として算定要員に位置付けられている。

今後、講習会や研修会等の更なる充実を図り、技能認定登録者が「資質の高い従事者」として広く社会に容認され、その役割を確立するために衆知を結集して邁進したい。

5. 病院等で理学療法等に従事するマッサージ師・柔道整復師等の医療法上の位置付け

病院等で理学療法・運動療法・機能訓練等に従事しているマッサージ師・柔道整復師等については、医療法に基づく「医療従事者」として位置付けられるように運動を推進する。

6. 組織強化

会員数の減少や高齢化が進む中で、公益社団法人として公益事業を推進して行くためには、組織を再編し基盤の強化を図る。

組織の拡充については、介護保険分野に従事する理学療法従事者に対しても、積極的に本会への入会を勧めていく。

会費の徴収に関しては、各支部役員の負担の軽減と未納者の減少を目的に、JCB カードによる本部への直接納入制度の導入を検討している。

諸会議及び役員渉外行動報告

月 日	用 務 地	用 務 内 容
10/6	東京イイノホール	第 10 回 日本医療リンパドレナージ協会学術大会（柳澤）
10/12	協会事務所	第 7 回 定例三役会（龍澤・平野・柳澤）
10/20	水戸市	茨城県支部創立 50 周年記念式典（平野）
10/19 20	東京衛生学園専門学校	第 36 回 理学療法指導者講習会
10/22	日本医師会館	第 9 回 国民医療協議会総会（龍澤・平野）
10/24	東洋療法研修試験財団	生涯研修作業実施部会（平野）
10/26	協会事務所	葵税理士法人財務作業（龍澤・小川・佐藤）
10/26	ツナビル 1 F	ニュー大崎管理組合理事会（龍澤）
10/27	協会事務所	財務処理対策委員会（小川・佐藤・三浦）
10/27	浜田ステーションホテル	第 41 回 中国四国理学療法学会（平野）
10/29	協会事務所	第 4 回 保険局会議（龍澤・三宅・大場・青柳）
10/29	厚労省保険局医療課	平成 26 年 診療報酬改定に係る要望（龍澤・三宅・大場・青柳）
11/1	全鍼師会会館	あはき等法推進協議会（龍澤・平野）
11/10	三重北勢地域地場産振興センター	第 51 回 中部理学療法学会 中部会創立 65 周年・三重県支部設立 50 周年記念式典（平野）
11/10	チサンホテル神戸	第 33 回 近畿理学療法学会（柳澤）
11/16	協会事務所	葵税理士法人財務作業（小川・佐藤・平野・龍澤）
〃	協会事務所	第 8 回 定例三役会（龍澤・平野・柳澤・丸山） 組織改革検討委員会（多田・龍澤・平野・柳澤・丸山）
11/17	協会事務所	第 3 回 理事会
11/19	東洋療法研修試験財団	生涯研修作業実施部会（平野）
11/29	〃	生涯研修検討委員会（龍澤）
11/30	協会事務所	広報 215 号校正作業（青柳・龍澤・平野・柳澤・丸山）

本部発信文書一覧

月 日	文書番号	宛 先	文 書 名
9/24	業務連絡	関係支部執行委員長	第36回 理学療法指導者講習会 旅費交通費の取扱いについて
9/30	業務連絡	支部・地方会役員	平成25年度(第2四半期)決算ファイル送付について
10/7	49	支部執行委員長	技能認定登録制度に係る登録の更新について
10/15	50	役員各位	平成25年度 第3回理事会の開催について
〃	51	組織改革担当部長	第3回 理事会の討議資料の確認について
10/29	52	厚生労働省保険局医療課長	平成26年 診療報酬改定に係る要望書
10/28	53	支部執行委員長	住所等の確認のお願い
10/31	54	役員各位	平成25年度 第3回 理事会プログラムと討議資料の送付について
11/8		岐阜県知事	福祉用具専門相談員指定講習会 事業報告書
〃	55	支部執行委員長	送付先(理療・広報)確認のお願い
11/12	56	支部執行委員長	東洋療法研修試験財団 理事長表彰状の送付について
〃	57	第63回 日本理学療法学会長	第63回日本理学療法学会 後援名義申請書について
11/22	58	支部・地方会執行委員長	第21回 認定試験について
11/22	業務連絡	関係各位	技能講習会課題レポートの送付方法について
11/22	59	関係各位	第21回 認定試験実施に関する文書の送付について

年度末業務予定表

区分	上旬	中旬	下旬
25年 12月	財務処理対策委員会 1日(日) 三役会 7日(土) 広報215号発行	葵税理士法人財務処理作業 14日(土)	年末年始のため事務局休み 12月28日～1月5日 (年末年始 緊急連絡先) 龍澤 会長 090-8893-6720 平野副会長 090-7423-1764 柳澤副会長 080-3387-5128
26年 1月	年末年始のため事務局休み 12月28日～1月5日	三役会 18日(土)	支部・地方会 平成26年度予算 書提出 31日(金)本部必着 提言・要望締め切り 31日(金)
2月	技能講習会 第21回 認定試験 9日(日) 三役会 9日(日) 第55回 定時代議員総会議案審議		
3月	三役会 8日(土) 第4回理事会 9日(日) 第55回 定時代議員総会議案審議		第55回 定時代議員総会議案書 (広報216号発送)
4月	支部・地方会 平成25年度決算書 提出(10日 本部必着)	三役会 19日(土) 学会・諸会議に向けての作業	支部から本部へ 代議員・各会議出席者名簿提出
5月	年度末監査 3日(祝) 学会・諸会議に向けての作業		理事会 29日(木) 支部・地方会代表者会議 30日(金) 第55回 定時代議員総会30日(金) 学会・代議員総会報告会 31日(土)・6月1日(日) (青森市)

支部執行委員長・地方会執行委員長へのごお願い

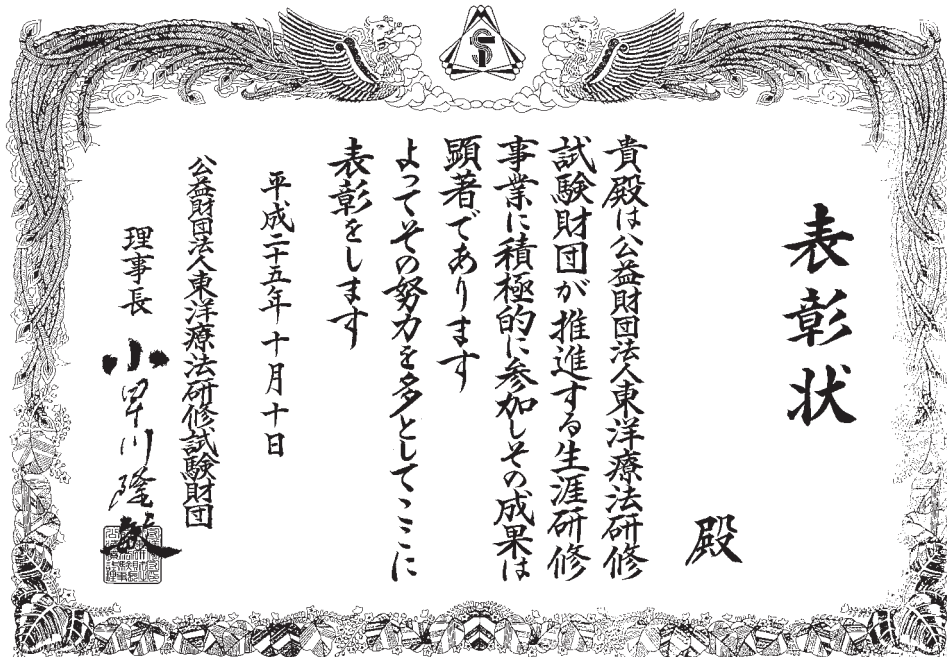
- ①第55回定時代議員総会議案書作成に向けての支部・地方会の要望・提言は、1月31日までに本部事務局へ提出してください。なお、意見・要望等は、該当する理事と十分協議し、了解のうえ、提出されますようお願いいたします。
- ②支部・地方会の平成26年度予算書は、1月31日(日)までに、平成25年度決算書については、4月10日(木)までに本部事務局へ提出してください。
- ③葵税理士法人による財務処理作業は、1月以降も毎月実施されます。

東洋療法研修試験財団理事長表彰について

このたび、東洋療法研修試験財団より、平成17年度から平成24年度までの8年間で生涯研修修了証書を5回以上取得した方の中から、1回目と2回目の対象者に表彰状が授与されました。

○1回目表彰者

富山県支部 4名



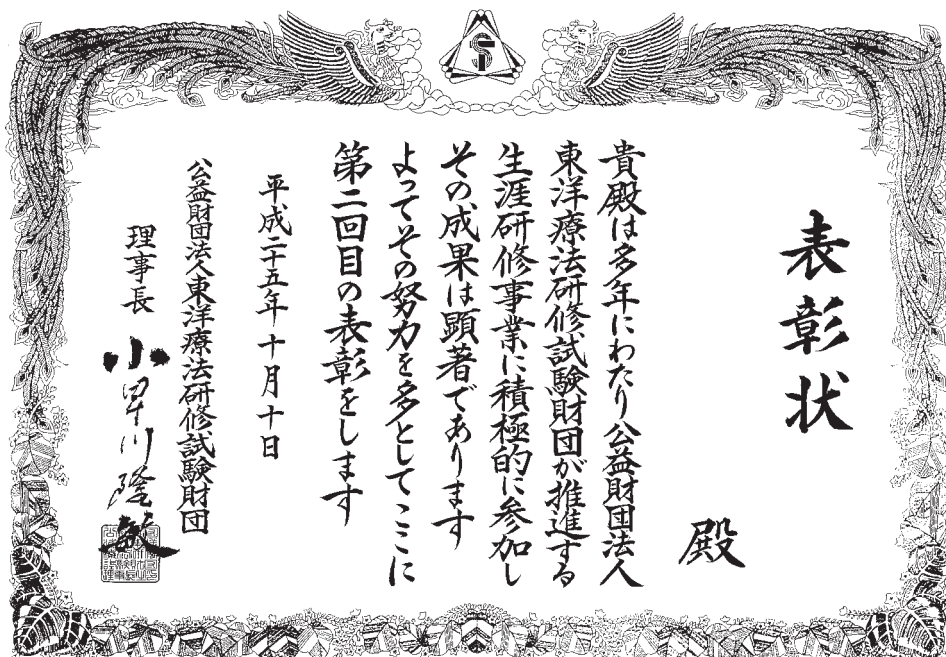
○2回目表彰者

岩手県支部 1名

富山県支部 1名

和歌山県支部 1名

合計 7名



役員改選公報 平成 26 年選管第 1 号	平成 26 年 1 月 30 日 公益社団法人 全国病院理学療法協会 役員改選管理委員長 池田京二
------------------------------	---

平成 26 年の役員改選に関し、平成 25 年度第 3 回理事会の決議に基づき、公益社団法人定款第 22 条、細則第 7 章「役員選任に関する項」に準拠して、以下のとおり公示する。

改選すべき役員及び日程

①役員名及び定数

理 事 16 名
 監 事 3 名

②役員改選に関する日程

公示日 平成 26 年 1 月 30 日
 立候補締切日 平成 26 年 2 月 28 日
 投票日 平成 26 年 5 月 30 日

上記役員の立候補については、下記要項により役員改選管理委員長に届出を行うこととする。

記

- (1) 自由意志による立候補は、200 字以内の抱負を添えて署名・捺印のうえ、本人が文書で届出る。
- (2) 推薦立候補者については、1 支部又は 1 地方会以上の推薦を必要とし、立候補者の同意を得て、推薦した支部、又は地方会の代表者が立候補者の抱負を添えて、署名・捺印のうえ、文書で届出る。
- (3) 届出は、すべて役員改選管理委員会の所定書式（協会ホームページからダウンロード）によるものとする。
- (4) 「立候補の抱負」については、郵送届出とは別途に WORD ファイルの原稿（200 字以内）を作成し、協会本部へ添付ファイルで送信する。
- (5) 届出は、下記住所へ郵送にて行い、締切日当日の消印までを有効とする。

〒 141 - 0032 東京都品川区大崎 3 - 6 - 12

ニュー大崎 318 号

公益社団法人 全国病院理学療法協会

役員改選管理委員会 御中

(協会本部メールアドレス： yakuaa@mars.plala.or.jp)

※「広報」発行の都合により、「選管公報第 1 号」が公示日より早く発行されています。

(様式1)

立 候 補 届 出 書

役員改選管理委員会

委員長 池 田 京 二 殿

平成 年 月 日

立 候 補 区 分	1. 個人立候補	2. 推薦立候補
立 候 補 役 職	1. 理事	2. 監事
立 候 補 者 氏 名	(ふりがな)	
上記のとおり、立候補者の抱負を添えて提出いたします。		
立 候 補 者 氏 名	署 名	Ⓜ
推薦母体		
代表役職名 ()	支部・地方会執行委員長	
	署 名	Ⓜ
代表役職名 ()	支部・地方会執行委員長	
	署 名	Ⓜ
代表役職名 ()	支部・地方会執行委員長	
	署 名	Ⓜ
代表役職名 ()	支部・地方会執行委員長	
	署 名	Ⓜ

[記載注意事項]

1. 「立候補区分」及び「立候補役職」は、該当欄に○を付ける。
2. 「立候補者氏名」は、必ずふりがなを付ける。
3. 「推薦母体代表者氏名」は、推薦立候補の場合のみ記載する。
4. 最終欄の「立候補者署名」は、個人・推薦にかかわらず全て記入し、「推薦母体代表者署名」は、推薦の場合のみ記載する。推薦母体が複数の場合は、推薦する支部、地方会を全て記載する。
5. 「立候補者抱負」は、200字以内とし、「個人・推薦にかかわらず、立候補届出書に添付する。

(様式2)

立 候 補 の 抱 負

立候補
役職名

立候補者
氏 名

(注) 文字数は200字以内です

編 集 後 記

つい先日まで山々は紅葉に彩られ、観る人の眼を楽しませておりましたが、その彩りも一気に山を駆けくんだり、今は公園の木々や街路樹が、鮮やかに紅葉の季節を迎えています。

さて、広報 215 号は、先日行われた理事会の議事録をはじめ、今年度の事業中間報告や次年度の基本姿勢（案）、役員改選広報などを中心に編集いたしました。

特に理事会の議事録には、協会の組織改革に係る支部の統廃合、代議員、理事の定数削減及び、来年行われる役員改選に係る特例事項の承認等を掲載いたしましたので、ぜひご確認ください。

2013 年も僅かとなりました。今年は猛暑や台風による災害が相次ぎ、地球温暖化の影響を強く感じた一年だったように思います。残りの日々は、穏やかに過ごしたいものです。

平成 25 年 12 月

青 柳 利 之

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会

〒141-0032 東京都品川区大崎 3-6-21
ニュー大崎 318 号

TEL 03 (3494) 1948

FAX 03 (3494) 1950

ホームページアドレス <http://nhpta.net>

発行責任者 龍澤良忠

編集責任者 青柳利之